

桜の名所 目黒川のほとりで“いけばなの祭典” 『いけばな×百段階 2014』

2014年3月18日(火)～5月18日(日) 文化財「百段階」にて開催

目黒雅叙園(運営:株式会社 目黒雅叙園/所在地:東京都目黒区)では、2014年3月18日(火)～5月18日(日)まで、園内に現存する東京都指定有形文化財「百段階」にて、第2回目の開催となる「いけばな×百段階 2014」を開催します。古典様式から現代様式まで、幅広いスタイルの“いけばな”をご覧くださいませ。

昨年を上回る規模で開催される、いけばなと文化財のコラボレーション



▲昨年度展示の様子(粋心流瓶華)



▲昨年度展示の様子(古流松應会)



▲昨年度展示の様子(国風華道会)

日本最大のいけばな団体「公益財団法人日本いけばな芸術協会」より、昨年度の出展を超える、51流派が集結し、週替わりで文化財「百段階」に作品を発表します。

いけばなと昭和初期を代表する日本画家たちが美を競い合ったアート空間「百段階」との時代を超えた美の共演が再び実現します。桜が芽吹く頃から新緑の季節までの2ヶ月に及び、日々表情が変化する移ろいの美をお楽しみいただけます。会期中何度でもご覧いただけるお得なフリーパスも販売します。

	エントランスロビー	十紋の間	漁機の間	草丘の間	静水の間	星光の間	清方の間	
第1期	3月18日(火)～3月23日(日)	池坊	池坊	古流松東会	池坊	逸州流(山本)	御室流	青蘭流
第2期	3月25日(火)～3月30日(日)	草月流	草月流	草月流	清風瓶華	宏道流(渡邊)	古流わかば会	未生御流
第3期	4月1日(火)～4月6日(日)	龍生派	宏道流(望月)	龍生派	古流・大観流	嵯峨御流	光風流	逸州
第4期	4月8日(火)～4月13日(日)	小原流	小原流	小原流	都古流	梶井宮御流	東和華道	大和花道
第5期	4月15日(火)～4月20日(日)	国風華道会	東池坊	国風華道会	秀抱流	真生流	京都古流	未生流(総家)
第6期	4月22日(火)～4月27日(日)	古流かたばみ会	春草流	古流松應会	広山流	古流かたばみ会	きらら会	古流松壽会
第7期	4月29日(火)～5月4日(日)	一葉式いけばな	一葉式いけばな	桂古流	郁生流	柳古流	松月堂古流	真月池坊
第8期	5月6日(火)～5月11日(日)	古流理恩会	古流松藤会	古流松藤会	日本古流	古流松藤会	松風花道会	古流理恩会
第9期	5月13日(火)～5月18日(日)	粋心流瓶華	清泉古流	映月松風流	錦花池坊	五十鈴古流	麗月流	古流松峰会

◆毎週月曜日には、流派の家元による公開制作をお披露目 ※毎週月曜日展覧会は休館

毎週月曜日には、エントランスロビーにて、流派の家元らが手がける大作の公開制作を開催します。いける過程を間近でご覧いただける貴重な機会です。

作品公開制作 会期中、月曜日はいけかえのため休館とさせていただきますが、エントランスロビーにて作品の制作をご覧くださいませ。(○14時頃～)

3月17日 池坊 次郎新 池坊 由紀	4月21日 古流かたばみ会 家元 大塚 理司
3月24日 草月流 家元 勲使河原 西	4月28日 一葉式いけばな 家元 粕谷 明弘
3月31日 龍生派 副家元 吉村 華洲	5月 5日 古流理恩会 家元 宇田川 理翁
4月 7日 小原流 家元 小原 宏貴	5月12日 粋心流瓶華 蒲田 智
4月14日 国風華道会 家元 海野 俊彦	

※記載情報が変更になる場合がございます。



▲昨年度の様子

目黒川の桜とともに楽しむ目黒雅叙園の春



都内有数の桜の名所である目黒川。桜が花開く季節には、約4kmに及ぶソメイヨシノの桜並木、約800本が咲き誇ります。桜の開花に先駆け、園内パブリックスペース「招きの大門」では、アートフラワーの桜の設えでお客様をお出迎えます。また、日本料理「渡風亭」では、春の彩りを目と舌で堪能いただける会席膳もお楽しみいただけます。

いけばな×百段階 2014 開催概要

※展示構成は、一部変更となる場合がございます

- 開催期間:2014年3月18日(火)～5月18日(日) ※月曜日休館
- 開催時間:10:00～18:00(最終入館 17:30)
- 会場:目黒雅叙園 東京都指定有形文化財「百段階」
- 入場料:1,200円(前売 1,000円)/学生 600円
通期入場フリーパス 3,000円 ※小学生以下無料
- お問合せ:03-5434-3140(10:00～18:00 営業部)
- 主催:目黒雅叙園
- 企画協力:公益財団法人日本いけばな芸術協会
- 後援:目黒区・めぐろ観光まちづくり協会
- 協力:JR 目黒駅

文化財「百段階段」とは

2009年3月に東京都の指定有形文化財に指定された木造建築。ケヤキの板材でつくられた99段の階段廊下をもつことから、通称「百段階段」と呼ばれています。かつて食事を楽しみ、晴れやかな宴が行われた絢爛豪華な7部屋が連なり、各部屋では樹齢数100年を超える床柱の他、天井や欄間に鏤木清方や橋本静水など当時屈指の著名な作家たちによって描かれた約160枚に及ぶ日本画や設えなど、昭和初期における美の共演と大工の高い技術力をみることができます。本展では、週替りで移り行く各流派の作品と日本画壇を代表する画家の作品との共演をお楽しみいただけます。



▲文化財「百段階段」

■^{じっぼ}十畝の間

天井には前室に八面、本間に十五面、合計二十三面の襖仕立ての鏡板に荒木十畝による四季の花鳥画が描かれています。黒漆の螺鈿細工が随所に見られる重厚な造りのお部屋です。



■^{ぎょしょう}漁樵の間

純金箔、純金泥、純金砂子で仕上げられた息を呑むほど美しい絢爛豪華なお部屋です。格天井には菊池華秋による四季草花、欄間には尾竹竹坡による五節供が描かれ、極彩色で精巧な彫刻が施されています。



■^{そうきゅう}草丘の間

格天井の秋田杉及び欄間には、磯部草丘の四季草花絵、瑞雲に煙る松原の風景が描かれています。障子建具は非常に手の込んだ面腰組子です。



■^{せいすい}静水の間

格天井の秋田杉に池上秀敏の鳳凰・舞鶴が描かれており、欄間四方は小山大月の金箔押地秋草です。次の間の床柱は楨出節、天井及び欄間は橋本静水によるものです。



■^{せいこう}星光の間

床柱は北山杉天然絞丸太の八寸物で、床天井は杉鏡板です。外廊下の床にはケヤキの広巾板を、天井には巾四尺長さ四間のヒノキ板が張られています。また、長押は秋田杉柱です。



■^{きよかた}清方の間

鏤木清方による茶室風の室です。天井は市松様様の網代、扇面形杉桁板は四季草花、欄間には四季風俗美人画が描かれています。廻り廊下の天井は北山丸太を扱った化粧軒、障子建具、組子など細心の造りになっています。



■^{ちやうじやう}頂上の間

百段階段の最上階に位置する資料室。展覧会会期以外では目黒雅叙園が所有する鬼瓦、彩色木彫板、螺鈿細工の蝶貝などを展示しています。目黒雅叙園と百段階段の歴史と伝統をご覧いただける部屋です。



〈本件に関する報道関係者からのお問合せ〉
目黒雅叙園 広報担当: 柴田・芳賀・多田・菊池
TEL: 03-5434-3832 FAX: 03-5434-3147
E-mail: press@megurogajoen.co.jp